

発掘調査成果から見た江戸時代の幕開けと終焉の地

二条城

京都市考古資料館 山本 雅和

1. 4つの「二条城」

①足利将軍の「二条城」（遺跡名「旧二条城」）

- ・沿革：13 代将軍足利義輝が斯波氏の邸宅跡に造営した居館（「武家御所」などの名称）
織田信長が 15 代将軍足利義昭のために造営した城郭（「武家御城」などの名称）
- ・場所：上京・下京を結ぶ室町通沿いに立地
北：出水通・東：京都御苑内（東洞院通り？）・南：丸太町通北側・西：新町通
- ・構造：方形の城郭（1974 年 地下鉄烏丸線の調査で石垣を発見）
石垣を備えた二重または三重の堀 内部に御殿・庭園
石垣の石材は河原石のほか石仏・五輪塔・石臼などの石材を使用

②織田信長の「二条城」（遺跡名「二条殿御池城」）

- ・沿革：織田信長が二条家の邸宅を受領して京都での宿舎として整備（「二条御新造」などの名称）
誠仁親王に進上され、本能寺の変では織田信忠らが立て籠もり自刃（「下御所」・「二条新御所」）
- ・場所：烏丸御池交差点北西側に立地
- ・構造：1 町規模（約 120m 四方 2001 年 景石・洲浜を備えた庭園を発見）
南西側に庭園→東側に建物を配置

③豊臣秀吉の「二条城」（遺跡名「妙顕寺城」）

- ・沿革：豊臣秀吉が山崎城のあと、聚楽第造営までに京都の拠点とした邸宅
法華宗寺院である妙顕寺を寺之内に移転させた跡地に整備 聚楽第完成にともない廃棄
- ・場所：西洞院御池交差点北西側
北：二条通・東：西洞院通・南：御池通（三条坊門通）・西：油小路通
- ・構造：南北 2 町規模（南北約 250m・東西約 120m）
構造の詳細は不明（周囲に堀）

④徳川幕府の「二条城」（遺跡名「史跡旧二条離宮（二条城）」）

- ・沿革：江戸時代を通じて徳川幕府の京都における拠点
- ・場所：中京区二条城町
- ・構造：堀をめぐらせる平城 桃山風の二の丸御殿とその前庭は芸術的価値も高い。

2. 二条城

・沿革

徳川家康が京都における拠点として造営した城郭 幕末にも政治の舞台となる

慶長 6 年（1601）造営に着手・慶長 8 年（1603）御殿が完成・慶長 11 年（1606）天守が完成

寛永元年（1624）二条城天守を淀城へ移す 伏見城天守を二条城へ移す

寛永 3 年（1626）後水尾天皇が二条城に行幸

寛延 3 年（1750）落雷により天守が焼失

天明 8 年（1788）天明の大火により本丸御殿などが焼失

慶応 3 年（1867）徳川慶喜が大政奉還を表明

・立地

北西部は平安宮跡南東隅・北東部は冷然院跡・南西部は神泉苑跡

聚楽第の南側 二条大路の西延長

当時の市街地西側に接する位置（造営時に「数千軒」が移転との記録もある）

・構造

（慶長期）

東西約 350m・南北約 400mの方形単郭式平城

東面と北面に大手門

天守は北西部（豊臣秀長が築城した大和郡山城天守を移築と伝える）

中心部に御殿・台所 西部に庭園

（寛永期）

東西約 530m・南北約 400mの方形輪郭式平城 本丸は東西・南北とも約 150m

後水尾天皇の行幸に備えて西側へ拡張・本丸を造成 拡張部の南北に石垣と中仕切門

東面と北面に大手門 西面に埋門（南門は大正 4 年に追加） 四隅に隅櫓

天守は本丸南西隅（伏見城天守を移築）

本丸は中心部に本丸御殿（伏見城御殿を移築と伝える）・台所 北西・北東・南西に隅櫓

二の丸は中心部に二の丸御殿（慶長期御殿を改築） 北東部に台所・米蔵 西部に庭園

二の丸御殿南西側に行幸御殿（新築）

（周辺）

外堀の周囲に道路・柵

堀川を外郭とする（堀川西岸石垣の刻印）

北側に京都所司代屋敷

西側に東町奉行所・西町奉行所

二条城関連略年表

年号	西暦	出来事
永禄11	1568	織田信長、上洛。足利義昭、室町幕府15代将軍に就任。
永禄12	1569	信長、義昭のために武家御城（旧二条城）を造営
天正元	1573	信長、上京焼き討ち・武家御城（旧二条城）を破却。足利義昭を追放、室町幕府滅亡。
天正 4	1576	信長、二条御新造（二条殿御池城）を造営
天正 7	1579	信長、二条御新造を誠仁親王へ進上。下御所あるいは二条新御所と呼ばれる。
天正10	1582	本能寺の変。二条新御所焼失。豊臣秀吉、明智光秀と山崎に合戦。
天正11	1583	秀吉、妙顕寺城に入る。前田玄以、京都所司代に就任。
天正12	1584	小牧・長久手の戦い。
天正13	1585	秀吉、関白に就任。
天正14	1586	秀吉、聚楽第の造営を開始。太政大臣に就任。徳川家康、豊臣秀吉に臣従。
天正15	1587	聚楽第完成。秀吉、洛中検地、北野大茶湯開催、キリスト教を禁止。
天正16	1588	後陽成天皇、聚楽第行幸。秀吉、淀城築城のための人員を徴発。
天正17	1589	秀吉、天下を統一。家康、関東へ移封、江戸城の造営開始。
天正19	1591	秀吉、御土居を構築、寺町の造営。洛中の地子銭を永代免除。甥の豊臣秀次に関白を譲る。
文禄元	1592	秀吉、伏見指月に新屋敷の造営開始。文禄の役始まる。
文禄 2	1593	秀吉、指月城へ移る。
文禄 3	1594	秀吉、指月城（伏見城）の拡張に着手、城下町造営。淀城を破却。
文禄 4	1595	秀次、高野山に自害。秀吉、聚楽第を破却。
慶長元	1596	慶長大地震、伏見城倒壊。秀吉、伏見木幡山に新たに伏見城を造営。家康、内大臣に就任。
慶長 2	1597	木幡山伏見城天守完成。慶長の役始まる。
慶長 3	1598	秀吉、死去。家康、江戸城拡張。
慶長 4	1599	家康、伏見城に入る。阿弥陀峰に秀吉廟が創建、豊国大祭礼が催される。
慶長 5	1600	関ヶ原の戦い。前哨戦にて伏見城落城。
慶長 6	1601	家康、伏見城復旧、二条城造営に着手。板倉勝重、京都所司代に就任。
慶長 7	1602	二条城御殿、天守の建設開始。
慶長 8	1603	家康、伏見城にて征夷大將軍の宣下を受ける。二条城御殿完成、家康入城。
慶長10	1605	徳川秀忠、伏見城にて征夷大將軍の宣下を受ける。
慶長11	1606	二条城天守完成。江戸城拡張。
慶長12	1607	江戸城天守（慶長天守）完成。
慶長16	1611	家康、二条城にて豊臣秀頼と会見。江戸城西ノ丸造営。
慶長19	1614	大坂冬の陣。家康、二条城より出陣。
慶長20	1615	大坂夏の陣。家康、二条城より出陣。豊臣氏滅亡。
元和 2	1616	家康、死去。
元和 6	1920	和子が後水尾天皇に入内。
元和 8	1622	板倉重宗、京都市中法度を発令。江戸城本丸拡張、天守（元和天守）完成。
元和 9	1623	徳川家光、伏見城にて征夷大將軍の宣下を受ける。伏見城を破却、天守を二条城へ移築。
寛永元	1624	二条城、後水尾天皇行幸に向けての大改築開始。二条城天守を淀城へ移築。
寛永 2	1625	二条城代・二条城在番を設置。
寛永 3	1626	二条城、大改築完了。後水尾天皇、二条城行幸。
寛永 5	1628	二条城行幸御殿を薄水尾天皇御所へ移築。
寛永 9	1632	秀忠、死去。
寛永11	1634	家光、上洛。二条城に入る。以後、幕末まで将軍の上洛は途絶える。
寛永13	1636	江戸城天守（寛永天守）完成。
寛永14	1637	幕府、内裏を造営。
明暦 3	1657	明暦の大火。江戸城天守焼失、以後再建されず。
貞享 3	1686	二条城破損修理。
正徳 3	1713	二条城破損修理完了。
寛延 3	1750	落雷により二条城天守焼失、以後再建されず。
明和 4	1767	二条城在番廃止、二条城定番を設置。
天明 8	1788	天明の大火。二条城本丸御殿など焼失。
文久 2	1862	二条城、徳川家茂上洛準備のため仮設建物を建設。
文久 3	1863	家茂、上洛。二条城に入る。
慶応 2	1866	徳川慶喜、二条城にて征夷大將軍の宣下を受ける。
慶応 3	1867	慶喜、二条城にて大政奉還を表明。徳川幕府滅亡。
明治元	1868	明治維新。
明治 4	1871	二条城、京都府の庁舎となる。
明治17	1884	二条城、宮内省の所管となり二条離宮となる。
明治18	1885	二条城修理開始（明治修理）。
明治26	1893	二条城本丸に桂宮御殿を移築、翌年完了。
大正 4	1915	大正天皇即位大礼。饗宴殿などが造営。南門ができる。
昭和14	1939	二条城、京都市の所管となる（史跡元離宮二条城）。翌年より一般公開開始。
昭和24	1949	二条城修理開始（昭和修理）。
昭和27	1952	文化財保護法に基づき、二条城二の丸御殿が国宝、他22棟が重要文化財に指定。
昭和28	1953	二の丸庭園が特別名勝に指定。
昭和57	1982	二の丸御殿障壁画が重要文化財に指定。
平成 6	1994	二条城、世界文化遺産に登録される。
平成17	2005	築城400年記念 展示・収蔵館開館

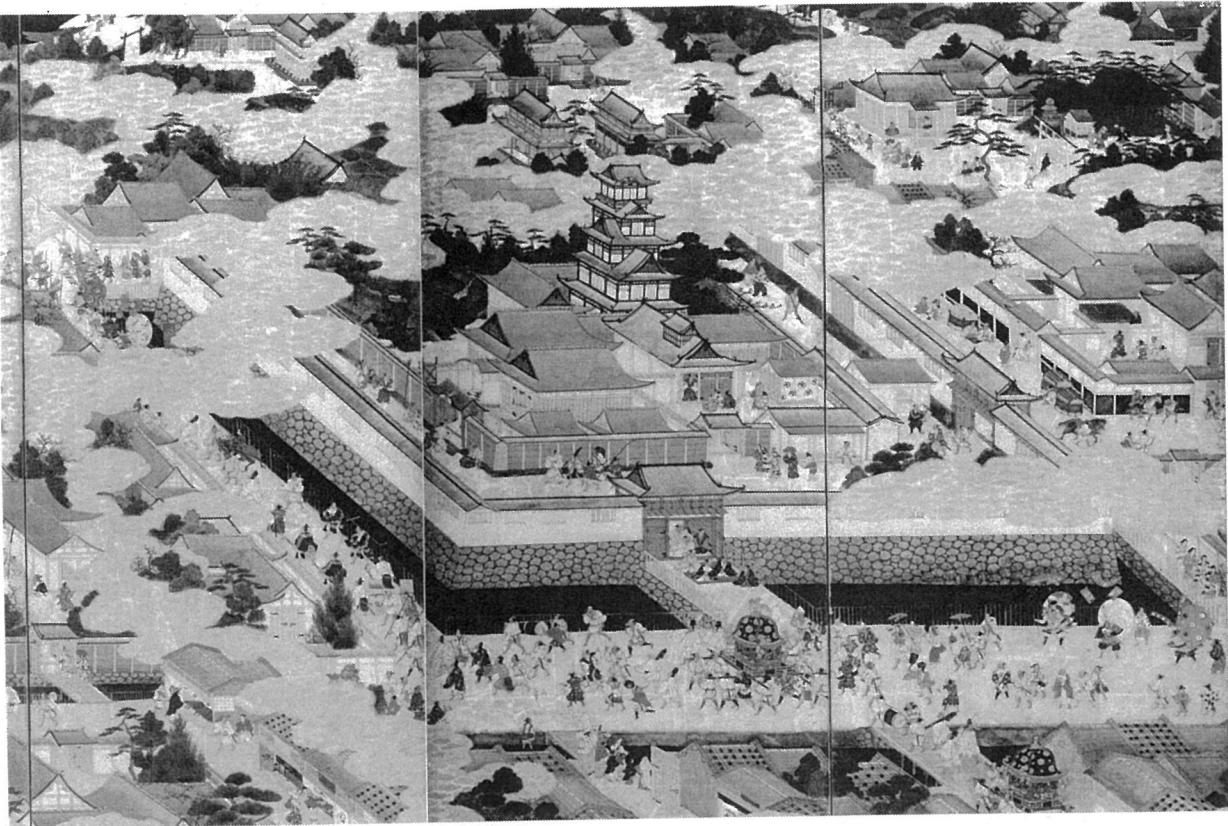


図1 慶長期の二条城（『洛中洛外図屏風』林原美術館蔵 部分）

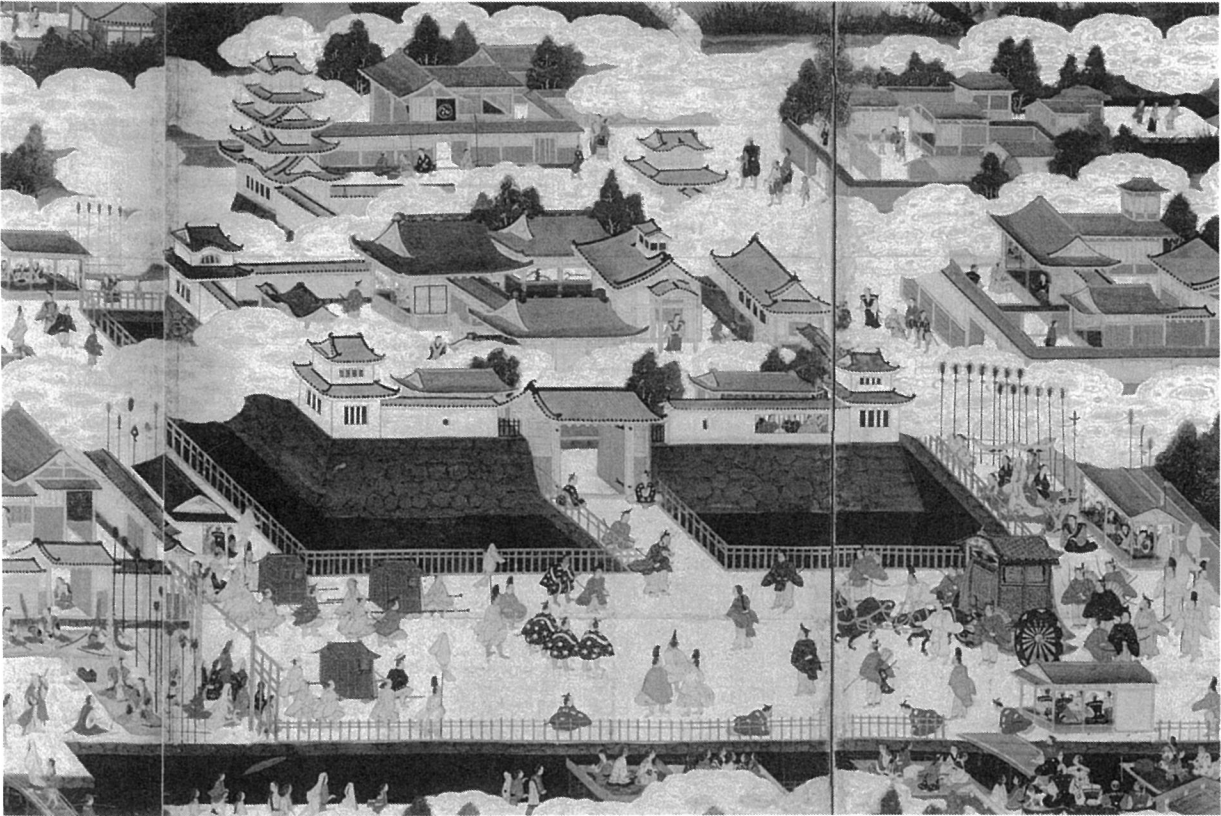


図2 寛永期の二条城（『洛中洛外図屏風』サントリー美術館蔵 部分）

3. 二条城の発掘調査

・外堀周辺

竹屋町通・押小路通で路面・側溝・柵

押小路通では堀の掘削にともなう 1 m 以上の盛土

竹屋町通沿いで寛永期の整地層

北外堀北面石垣に修復の痕跡

水中調査にて北外堀石垣の「いたみ」を確認

・二の丸御殿周辺

慶長期の整地層および大型竈（かまど）

寛永期の整地層および二の丸庭園への導水施設・石組溝

呼子門・桃山門間で天明の大火の痕跡

東側土塁の構築土・石積み・石組溝

東大手門で近代の修復

・緑の園（二の丸御殿北側）

北大手門からの路面

江戸時代後期の整地層・礎石

・桜の園（二の丸御殿南側）

慶長期の西堀内側の土塁の石垣

寛永期の後水尾天皇らの行幸御殿

行幸御殿の金箔瓦・建具金具・高級白磁が出土

江戸時代中期～後期の稲荷社の祠・参道・鳥居（鳥居は文政地震で倒壊）

・本丸

3 m以上の大規模な盛土

寛永期の徳川秀忠の本丸御殿

天明の大火の痕跡 焼けた瓦・壁土・葺土が出土

天明の大火後の建物・礫敷遺構

幕末の仮御殿建設にともなう土坑・埋甕

本丸御殿（旧桂宮邸）移築の整地層

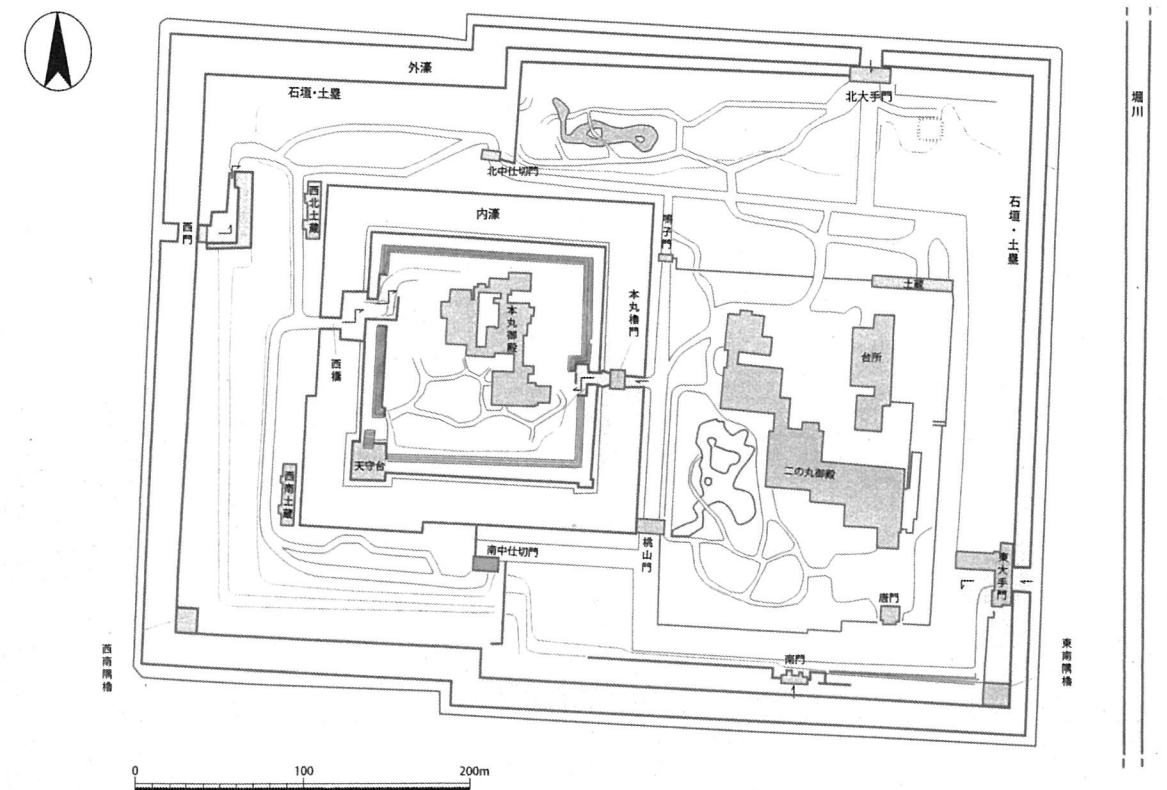


図3 現在の二条城平面図（馬瀬 2006年）

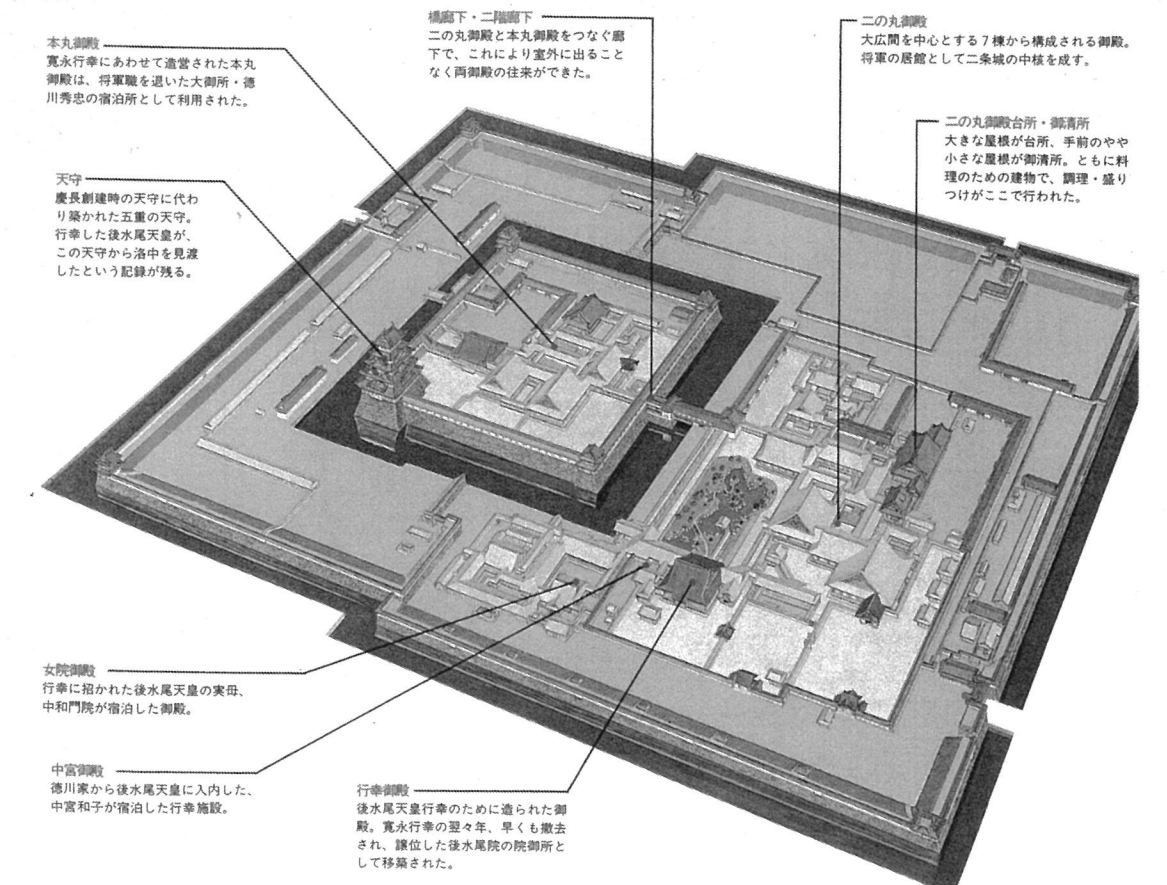


図4 寛永期の二条城鳥観図（学習研究社 1996年）

表 1 二条城調査一覧表

No.	調査方法	調査日	調査概要	文献
1	立会	1977.02.23～03.25	近世：遺物包含層。	1
2	立会	1977.04.16～04.26	近世：遺物包含層。江戸～明治：瓦溜、溝。	2
3	立会	1978.03.06～03.29	平安：瓦片。近世～現代：陶磁器。	3
4	立会	1979.03.12～04.07	平安後期：土器溜。平安末～鎌倉初：埋甕土坑。近世：石組暗渠。	4
5	立会	1980.02.13～03.17	江戸：瓦溜、緑石列、礎石、石組溝。	5
6	立会	1980.10.17～11.01	桃山：建物跡。	6
7	立会	1981.02.19～03.13	平安後期：土坑。中世：土坑。近世：石垣(二条城西限)、排水溝、焼土層、瓦溜。	7
8	発掘	1981.08.04～11.09	縄文晩期：自然流路(砂礫層)。平安前期：溝、猪熊小路東側溝、土坑。平安後期～室町：二条大路北側溝、土坑、井戸、溝、柱穴群。桃山～江戸：蔵跡、道路敷、側溝、柵列。	8
9	発掘	1983.02.01～02.16	平安後期：池状遺構。鎌倉～室町：柱穴、溝(南北に通る幅2～2.5m、深さ0.7m)。桃山～江戸：土坑、井戸、柱穴、暗渠。	9
10	試掘	2000.11.07～2001.03.30	冷泉院の池に伴う遺水・景石と創建期の二条城西堀東岸を確認。弥生中期：堅穴住居跡。平安前期～中期：池、池堆積層、溝、整地層。平安後期：溝、井戸、整地層、池堆積層。室町後期：土坑、井戸、整地層、溝。桃山：柱穴、溝、石垣、堀、堆積土坑。江戸前期：整地層、雨落溝、礎石据付跡、地業、溝。江戸中期～後期：土坑、柱穴、溝、整地層。	10
11	発掘・試掘	2001.10.01～2002.03.29	平安前期～中期：池堆積土、洲浜、汀線、盛土、列石、炭層、景石、池陸部。平安後期：盛土、景石、池堆積土、汀線、溝、井戸、柱穴、土坑。鎌倉～室町：池堆積土、溝、土坑、柱穴。室町後期：柱穴、土坑、整地土、井戸、溝。桃山：溝。江戸前期：柱穴、土坑。江戸中期～後期：土坑、井戸、柱穴、溝、建物、石敷、瓦敷土間。	11
12	発掘	2002.09.02～09.27	平安後期：ピット。室町後期：落込、溝。江戸：整地層、土坑。	12
13	確認	2008.01.28～02.01	江戸：東大手門石垣。近代以降：東大手門築地塀(多門塀)控え柱(石柱)。	13
14	確認	2009.09.07～11.04	(緑の圈)江戸初期：整地層。江戸前期：建物礎石柱穴列、柱穴、溝、石列、整地層、根石群。江戸中期：石鳥居、石組、集石、礎石、溝、土坑、柱穴。江戸後期：土間、柱穴、土坑。近代：溝。 (桜の圈)江戸後期：土坑。	14
15	確認	2009.11.01～2010.01.27	平安：池。江戸初期～前期：建物、溝、木樋、土坑、柱穴、路面、整地層。江戸中期～後期：土坑、柱穴。近代：柱穴。	15
16	立会	2010.06.14～12.14	江戸：整地層、盛土、石列、礎石、瓦溜り。	—
17	発掘	2010.09.06～09.17	江戸：整地層、路面、石列、瓦溜り。	16
18	発掘	2014.11.17～11.28	江戸：東大手門櫓礎石、石垣裏込。近代以降：東大手門多門塀控え石柱。	17
19	発掘	2015.05.18～06.04	平安：溝、杭跡、柱穴、落込み。鎌倉～室町：土坑、ピット、溝、遺物包含層。江戸：整地層。近代：整地層、土坑。	18
20	発掘	2016.04.18～05.11、06.24	平安：遺物包含層。鎌倉～室町：遺物包含層。江戸：整地層・石垣裏込。近代：道路側溝。	18
21	発掘	2016.10.31～11.15	江戸：整地層、石垣裏込。近代：土管	18
22	発掘	2022.01.11～03.08	江戸：建物、礫敷遺構、柱穴列、土坑、埋甕、集石。明治：土坑。	19
23	発掘	2022.08.01～10.07	江戸：礫敷、石列、土坑、地業、硬化面、溝状遺構。明治：土坑、硬化面	20
24	発掘	2022.12.19～2023.01.16	江戸：石組溝、畝状遺構。石積み、土塁構築土、土坑。	20
25	発掘	2002.07.03～09.18	(A区)平安前期：ピット、整地層。平安中期～後期：ピット、柱穴列、整地層、溝。室町：土坑。江戸前期～後期：溝、路面、柵。江戸後期～明治・大正：路面、溝、柵。 (B区)鎌倉：井戸。桃山：溝、土坑。江戸：路面、溝、ピット群。	21
26	発掘	2004.09.13～11.08	桃山～江戸初期：土取穴、整地層、溝、路面、柱穴。江戸前期～後期：路面、建物、溝、石列、柱列。江戸末以降：溝、土坑、路面。	22
27	発掘	2006.01.06～03.01	平安：柱穴、土坑、溝。鎌倉～江戸初期：土坑、柱列。江戸前期～末期：路面、落込。江戸末期～明治・大正：路面、溝、柵列。	23

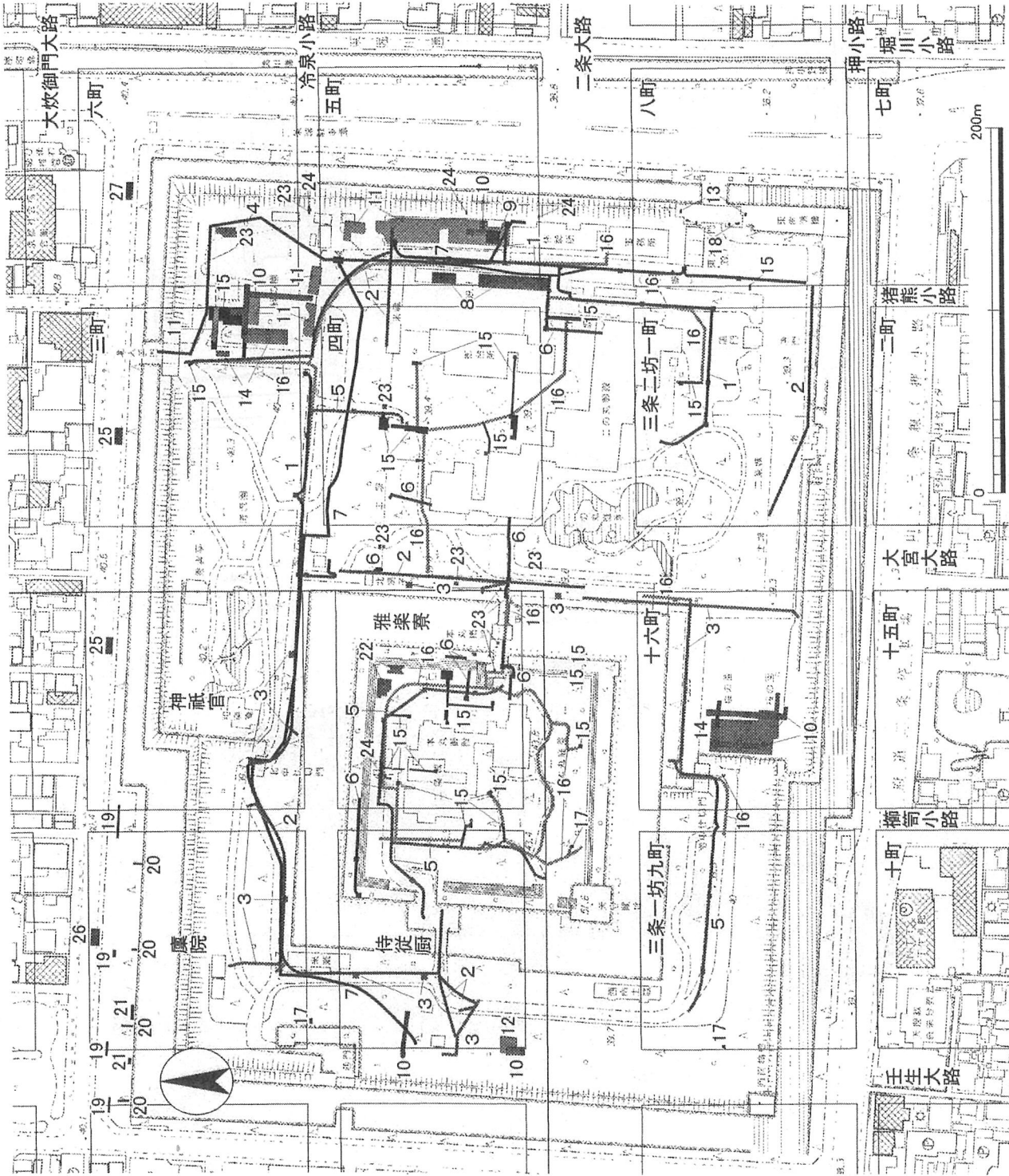


図 5 二条城調査地点位置図



図6 行幸御殿の調査



図8 本丸御殿の礎石列

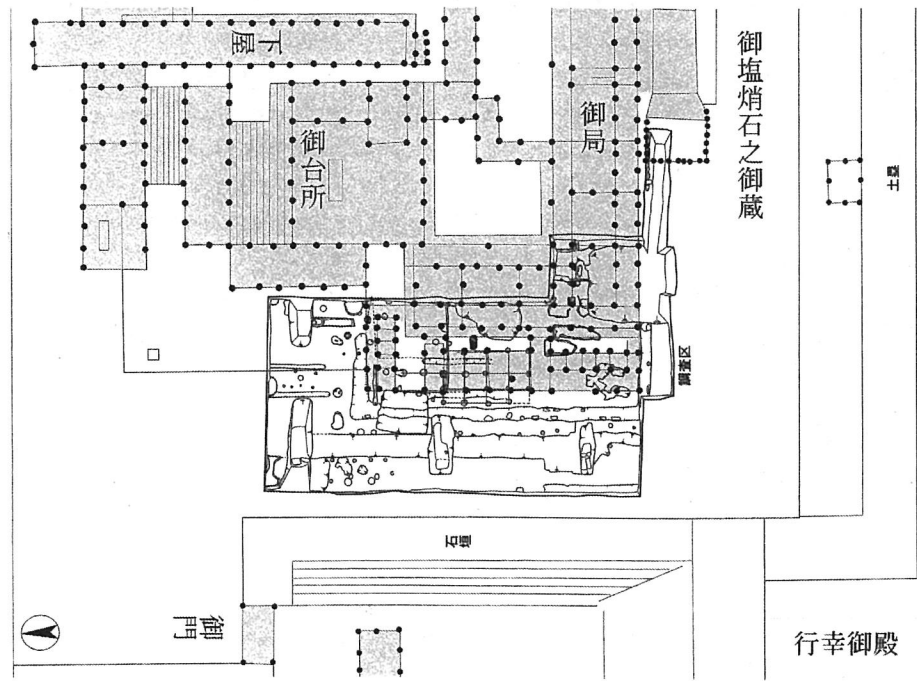


図7 寛永期の行幸御殿の絵図と検出遺構（京都市埋蔵文化財研究所 2010 年）
『行幸御殿并古御建物御取解不相成以前 二条御城中絵図』中井正知家蔵より作図

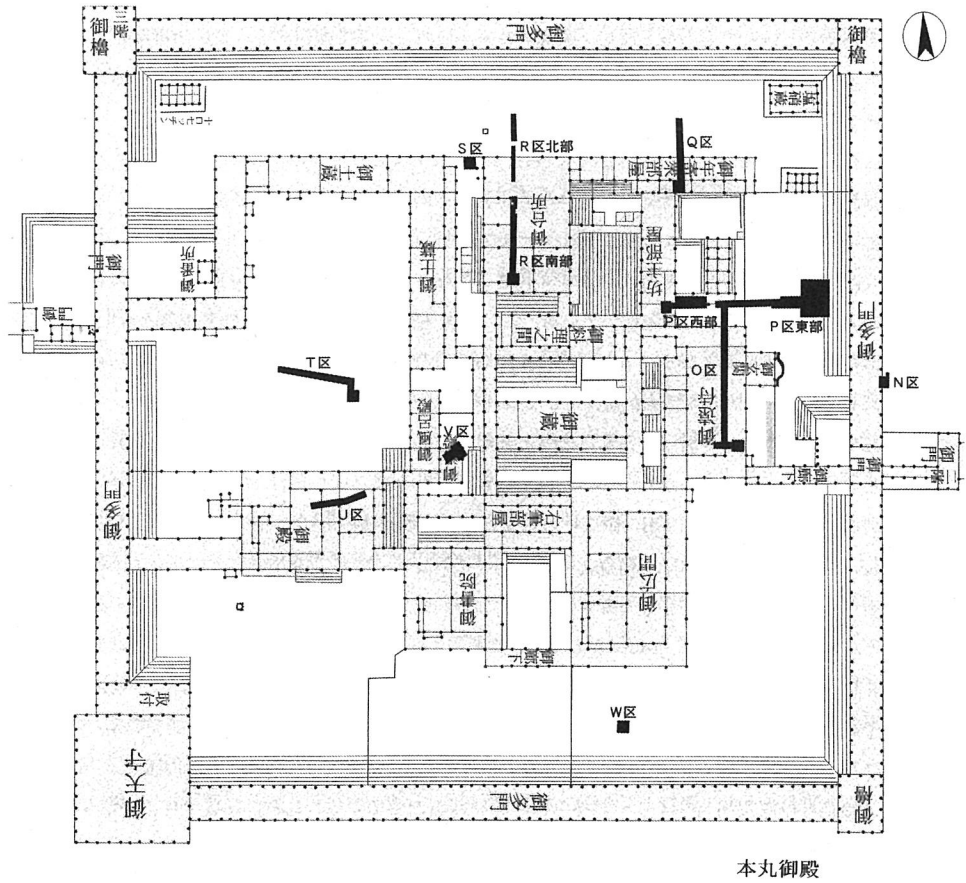


図9 寛永期の本丸御殿の絵図と調査位置（京都市埋蔵文化財研究所 2010 年）
『行幸御殿并古御建物御取解不相成以前 二条御城中絵図』中井正知家蔵より作図

おわりに

- ・慶長期の二条城

北が高く南が低い旧地形の影響（二の丸御殿付近では約 40 cmの整地層）

北大手門・台所（大型竈）の位置が洛中洛外図に一致

- ・寛永期の二条城

盛土による大規模な整地（二の丸御殿付近：40～50 cm・桜の園：50～110 cm・本丸：3 m以上）

本丸御殿・行幸御殿などの遺構を発見

調査で見つかった建物が中井家の絵図に一致

- ・その後の二条城

天明の大火・文政の大地震などの痕跡を確認

江戸時代中期～後期の修復

幕末・明治期以降の整備

主な引用・参考文献

『洛中洛外図 都の形象－洛中洛外の世界』京都国立博物館 1996 年

『二条城 歴史群像名城シリーズ⑩』学習研究社 1996 年

原山充志「是ヨリ北紀州」『リーフレット京都』No.153 （財）京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館 2001 年

日本史研究会編『豊臣秀吉と京都』文理閣 2001 年

馬瀬智光『京の城－洛中洛外の城郭－』京都市文化市民局 2006 年

山本雅和「二条城の造営」『リーフレット京都』No.262 （財）京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館 2010 年

馬瀬智光『天下人の城』京都市文化市民局 2017 年

元離宮二条城公式ホームページ

調査報告書

文献

- 1 「表2－1」『昭和51年度 京都市埋蔵文化財調査概要』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2008年
- 2 「付章22 宮南東部」『平安宮Ⅰ 京都市埋蔵文化財研究所調査報告第13冊』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 1995年
- 3 「付章26 宮南東部」『平安宮Ⅰ 京都市埋蔵文化財研究所調査報告第13冊』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 1995年
- 4 「表2－3」『昭和53年度 京都市埋蔵文化財調査概要』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2011年
- 5 「表2－8」『昭和54年度 京都市埋蔵文化財調査概要』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2012年
- 6 「表2－6」『昭和55年度 京都市埋蔵文化財調査概要』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2011年
- 7 「表2－7」『昭和55年度 京都市埋蔵文化財調査概要』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2011年
- 8 「左京二条二坊(3)史跡二条城」『昭和56年度 京都市埋蔵文化財調査概要(発掘調査編)』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 1983年
- 9 「左京二条二坊(3)史跡二条城」『昭和57年度 京都市埋蔵文化財調査概要』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 1984年
- 10 「平成12年度の試掘確認調査」『史跡旧二条離宮(二条城)』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査概報 2001-15 財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2003年
- 11 「平成13年度の発掘・試掘確認調査」『史跡旧二条離宮(二条城)』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査概報 2001-15 財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2003年
- 12 『史跡旧二条離宮(二条城)』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査概報 2002-13 財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2002年
- 13 「史跡旧二条離宮」『平成19年度 財団法人京都市埋蔵文化財研究所年報』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2010年
- 14 『史跡旧二条離宮(二条城)』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2009-14 財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2010年
- 15 『史跡旧二条離宮(二条城)』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2009-15 財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2010年
- 16 『史跡旧二条離宮(二条城)』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2010-12 財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2010年
- 17 『重要文化財二条城 東大手門 修理工事報告書 第九集』元離宮二条城事務所 2017年
- 18 『史跡旧二条離宮(二条城)』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2016-19 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2019年
- 19 『史跡旧二条離宮(二条城)』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2021-12 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2022年
- 20 『史跡旧二条離宮(二条城)』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2022-9 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2023年
- 21 『史跡旧二条離宮(二条城)・平安宮神祇官・平安京冷然院跡』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査概報 2002-12 財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2002年
- 22 『史跡旧二条離宮(二条城)・平安宮廩院跡』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査概報 2004-13 財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2005年
- 23 『史跡旧二条離宮(二条城)・平安京冷然院跡』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2005-16 財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2006年